



いのちを見つめる集会

6月1日に「いのちを見つめる集会」を行いました。校長講話、黙祷、「輝きクローバー」の説明、「決意の言葉」の発表等の活動をとおして、いのちの大切さについて考え、自分を振り返るとともに、自分自身の生き方を見つめ直す学習を行うことができました。

校長講話では、次のような話をして、いのちの大切さを子どもたちに伝えました。

- いのちを見つめる日は、いのちの大切さについて考え、自分を振り返るとともに、自分自身の生き方を見つめ直す日です。
- 私たちはいのちがあるからいろいろなことができます。でも絶対に忘れてはいけないこと、それは、いのちは一人に一つしかないということです。だからこそ、私たちは、その一つしかないいのちを大切にしなければなりません。
- いのちを大切にするの一つ目は、「自分らしく今を一生懸命生きる」ということ。好きなことや得意なことがあるということは、皆さんのよさであり、「自分らしさ」です。その「自分らしさ」を大切にして、今を一生懸命生きることが大切です。
- いのちを大切にする二つ目は、自分のいのちと同じくらい、「まわりの人のいのちを大切にする」ということ。人の気持ちを考えて、まわりの人を大切にできる人になりましょう。だから、人の心やいのちを傷つけることは、絶対にしてはいけないのです。
- そのために、私たちはふだんから、頭や身体を鍛えるのと同じように、心を鍛えておかなければなりません。自分のいのちを大切に、まわりの人のいのちを大切にできるよう、自分の心を鍛えていきましょう。

1年生から6年生までの子どもたちが、うなずきながら、真剣な眼差しで私の話を聞いていました。そのあと、子どもたちは自分たちで一生懸命考えた「決意の言葉」を発表しました。

【各学年の決意の言葉】

- 1年 じぶんの いのちも みんなの いのちも たいせつにします
えがおで がんばる やさしい1年生に なります
- 2年 みんなが えがおで えられるように いのちと ころを たいせつにします
- 3年 みんなで やさしく声をかけ 一人一人のいのちを おもいやる
すてきな にじいろ3年生
- 4年 えがく夢 仲間とともに がんばる力 おおしく羽ばたけ 4年生
- 5年 みんなに優しく 思いやりをもって行動します
そのために 言葉を大切にし 自分のことも 相手のことも 大事にします
何事もあきらめずに がんばります
- 6年 輝く笑顔 認め合う心
友達を思いやり 絆を深めていきます

6月の「いのちを見つめる強調月間」の取組をとおして、「決意の言葉」を実現できるように、子どもたちを励ましていきます。ぜひご家庭でもこの機会に、いのちの大切さについて親子で話し合ったり、いのちを大切にすることはどういうことか一緒に考えたりしていただければと思います。